

11月特別研修 受講生募集中!

申込期限

9月20日(水)

No.1



次のとおり、11月に研修センターで実施する特別研修の受講生を募集します。

研修名	日時	場所
防災	11月2日(木) 9:30~16:30	自治総合研修センター
アサーティブ・コミュニケーション(第2・3回)	第2回 11月15日(水) 9:30~16:30 第3回 11月16日(木)	第2回 広島県三次庁舎 第3回 自治総合研修センター
企画資料作成技法(第2回)	11月21日(火)~22日(水) 9:30~16:30	自治総合研修センター
監督者セミナー(メディア対応)(第1・2回)	第1回 11月21日(火) 9:30~17:00 第2回 11月22日(水)	第1回 自治総合研修センター 第2回 呉市役所
文書作成指導能力養成講座	11月1日(水) 8:50~17:00	広島市研修センター
変革型組織風土づくり講座	第1回 11月14日(火) 8:50~17:00 第2回 11月15日(水)	広島市研修センター
CS(顧客満足)向上講座	第1回 11月7日(火) 8:50~17:00 第2回 11月8日(水)	広島市研修センター

防災

受講者の声

日程	11月2日(木)	この研修では、防災・減災をテーマにして、最新のトピックスや事例紹介を交えながら、自然災害発生に対する危機管理方法について講義を受け課題研究を行います。
会場	自治総合研修センター	

実災害をもとに、何が教訓なのか、それをどう活かすかの具体例があり、わかりやすかったし、説得力があった。

定員 県20名、市町20名

対象 希望する職員

講師 県職員 関西大学 河田 恵昭さん

関連するコンピテンシー



河田教授の講義を受けられるのは貴重! 災害に対する考え方が変わりました。より多くの職員に受講してほしい。

関西大学社会安全学部・社会安全研究センター長・特別任命教授(チェアプロフェッサー)、工学博士。専門は防災・減災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長(兼務)のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。2007年国連SASAKAWA防災賞、09年防災功労者内閣総理大臣表彰、10年兵庫県社会賞受賞、14年兵庫県功労者表彰、16年土木学会功績賞。現在、中央防災会議防災対策実行会議委員、日本自然災害学会および日本災害情報学会会長を歴任。

アサーティブ・コミュニケーション(第2・3回)

三次開催あり

受講者の声

日程	第2回 11月15日(水) 第3回 11月16日(木)	職場で周囲に遠慮して自分の意見を主張できなかった、逆に強く主張し過ぎてギクシャクしてしまったという経験はありませんか? この研修では、住民、上司、同僚、部下との対人関係を円滑にするコミュニケーションスキルを習得します。 ●自分もOK・相手もOKというアサーティブの考えに基づき、意見を伝えるポイントを講義で学び、ロールプレイングを繰り返すことで上達を図ります。
会場	第2回 広島県三次庁舎 第3回 自治総合研修センター	

コミュニケーションを図る際、言い方、考え方を少し変えるだけで相手の感じ方も変わってくるということがわかりました。

定員 各回次につき県15名、市町15名

対象 希望する職員

講師 アサーティブジャパン 谷水 美香さん

関連するコンピテンシー



ロールプレイが多数あり、他の人の意見や、自分自身を客観視する体験が自らの課題の改善に役立ちました。

高校教師を経て、現在特定非営利活動法人アサーティブジャパンの認定講師として自治体・企業等で研修を実施。多様性及び人権教育・女性学・労働問題・メディアリテラシーなどの学びを深め、様々な社会的課題の解決を目指した自主グループを設立し、講座や講演会も企画・実施している。

企画資料作成技法(第2回)

受講者の声

日程	11月21日(火)~22日(水)	わかりやすい資料とは何かを理解し、読み手の立場に立った説得力のある資料の作成手法を習得します。 ●講義やグループ演習を通じて、わかりやすい資料を作成するための情報整理、文章表現や図解化等の手法を習得します。 ●パソコンで資料を作成する前の資料内容の設定過程(わかりやすい資料とは何かを考え、文章を論理的に組み立て、情報を整理し最適な表現方法を検討する)を重視した研修です。
会場	自治総合研修センター	

作成における単なる「技法」に留まらず、構成の仕方、それを成立させるための思考について学習できたので、期待以上の内容だった。

定員 県16名、市町20名

対象 希望する職員

講師 ウィズン・コンサルティング 小木曾 祐介さん

関連するコンピテンシー



実際の現場で役立つ資料作りの考え方がわかり、よい研修であった。

民間企業で事業者のネット販売を支援後、2005年にコンサルタントとして独立。ウィズン・コンサルティングのパートナーコンサルタントとして所属。WEBコンサルティング、マーケティング戦略等の講師として活躍中。

監督者セミナー(メディア対応)(第1・2回)

呉開催あり

受講者の声

日程	第1回 11月21日(火) 第2回 11月22日(水)	監督者として危機発生時に求められるメディア対応能力の向上を目指します。 ●危機発生時のメディア対応を中心に、そのノウハウをロールプレイを通じて習得します。 ●模擬記者会見を実施し、実践的なトレーニングを行います。マスコミ対応のための資料作成を行う上でも大変参考になる体験です。
会場	第1回 自治総合研修センター 第2回 呉市役所	

メディアトレーニングは大変身になるものだった。研修とはいえ緊張感があり、自分の反省点が浮き彫りになったのが良かった。

実践的な内容だったのでインパクトがありました。今後このような機会が訪れても落ち着いて対応できる自信につながりました。

定員 第1回 県8名, 市町28名
第2回 県4名, 市町32名
対象 GL, 係長, 主査及びこれに相当する職以上にある職員
講師 日本経営協会 宇於崎 裕美さん

関連するコンピテン



PR会社勤務を経て、企業広報とマーケティング、危機管理広報のコンサルタントとして1997年に独立。国内外の官公庁、企業、大学等で広報やクライシス・コミュニケーションに関する講演や、メディアトレーニングを実施している。

文書作成指導能力養成講座

広島市との連携研修

日程	11月1日(水)	わかりやすい文書を作成するための指導のポイントについて学習し、文書添削や指導力の向上を図ります。 ●講義と簡単な演習を通じて、分かりやすい作成の基本を学びます。
会場	広島市研修センター	

定員 県・市町あわせて2名程度
対象 参事級職員以上
講師 外部講師

ポイント



変革型組織風土づくり講座

広島市との連携研修

日程	第1回 11月14日(火) 第2回 11月15日(水)	時代の変化を先取りし、組織が一丸となって変革に取り組める組織風土づくりを学びます。 ●組織風土診断を行い、その診断結果を踏まえながら、講義、事例研究をとおして、管理者に期待される役割、意思決定の影響度などの認識を深め、行動規範の変革を促し、変革型の職場づくりを図ります。
会場	広島市研修センター	

定員 各回次につき県・市町あわせて2名程度
対象 参事級職員以上
講師 外部講師

関連するコンピテンシー

CS(顧客満足)向上講座

広島市との連携研修

日程	第1回 11月7日(火) 第2回 11月8日(水)	「住民満足」をキーワードにした行政推進のために、民間企業で取組まれているCS(顧客満足)の考えを学びます。 ●CSの基本からはじまり、CS経営、管理監督者に求められる視点・体制づくりのポイントが学べます。 ●グループ討議も織り交ぜながら住民満足度向上のための体制づくりについて話し合いますので、受講者同士での情報交換が活発に行うことができます。
会場	広島市研修センター	

定員 各回次につき県・市町あわせて2名程度
対象 参事級職員以上
講師 外部講師

関連するコンピテンシー



申込方法

- 職員ポータル上の研修支援システムから申し込んでください。
- 申込期限までに、所属の承認作業まで必ず済ませてください。
(教委・県警職員を除く。(教委・県警職員の方は、各研修担当部局を通じて申し込んでください。))

研修の概要等については、各所属に配付している「研修ガイド」または「研修センターホームページ」を参照してください。【問い合わせ先】研修運営担当 ☎082-247-8221 内線 5613・5616

ひろしま自治人材開発機構ホームページは
 クリック!
<http://www.kenshu-hiroshima.jp/>

